

各位

遠鉄グループ平成 28 年度中間決算について

当上半期におけるわが国経済は、消費税引上げ以降、力強さを欠いた状況にあり、所得から支出への波及に遅れがみられているものの、政府による各種政策を背景に、経済再生・デフレ脱却に向けた進捗がみられ、雇用・所得環境の改善などにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当上半期における当社グループの連結業績につきましては、売上高は 7 期連続増収・過去最高の 846 億 9 百万円(前年同期比 0.4%増加)、経常利益は 14 億 1 千 3 百万円(前年同期比 18.1%減少)、中間純利益は 7 億 9 千 6 百万円(前年同期比 7.6%減少)となりました。

今後の見通しにつきましては、世界経済の下振れや英国の EU 離脱問題といった、海外経済の不確実性の高まりや金融市場の変動の影響など、景気の本格的な回復には今しばらくの注視が必要になると思われまます。

このような状況の中、浜松市北区引佐町を中心とした遠州地域を舞台とした NHK 大河ドラマが、来年 1 月より放映されます。年間を通じて、当地が全国より注目され、多くの観光客が遠州地域を訪問されることが予想されます。鉄道、バス、タクシー、旅館、ホテルなどを営んでいる遠鉄グループとして、観光施設や宿泊施設、土産物事業者、そして行政、地域の皆様と連携しながら地域の魅力を発信し、最高のおもてなしをするよう努めてまいります。

なお、平成 28 年度の年間連結業績につきましては、売上高は 1,814 億円(前年比 4.7%増加)、経常利益は 39 億円(前年比 8.0%増加)、当期純利益は 21 億円(前年比 58.0%増加)を見込んでおります。

(別紙)

- ・遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況
- ・業績推移(連結決算・セグメント別売上高)
- ・遠鉄グループ各社の主な事業内容

1. 遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況

(1) 運輸事業(鉄道事業・バス事業・タクシー事業など)

鉄道事業におきましては、「浜北駅」の待合室拡張やトイレ増設、駅務室と遠鉄トラベル店舗窓口の一本化の工事を実施し、利便性向上を図りました。

バス事業におきましては、高速バスにおいて、8月に浜松市内から新宿までの往復バスと都内のホテル宿泊をセットにしたツアー商品「東京お泊りライナー」の販売を開始し、収益拡大に努めました。また、空港・高速バス、貸切バスにおいて「衝突被害軽減ブレーキ」「衝突防止補助システム」の追加装備を進め、安全対策の強化に努めました。

タクシー事業におきましては、9月から助信駅から西鹿島駅の各駅への迎車料金を無料とし、顧客サービスの向上に努めました。

以上の結果、運輸事業の売上高は、76億8千万円(前年同期比0.5%減少)となりました。

(2) レジャーサービス事業(旅行業、ホテル・旅館業など)

旅行業におきましては、遠鉄トラベルにおいて、設立65周年を記念して9月にお得なツアー商品「まるごとソウル」を企画・販売し、収益拡大に努めました。

ホテル・旅館業におきましては、設立60周年の節目を迎えた遠鉄観光開発において、ホテルウェルシーズン浜名湖が「じゃらんアワード2015東海エリア」、ホテル九重が「JTB・るるぶトラベルアワード2015」において第1位を獲得し、施設の取組みが評価されました。また、ホテルコンコルド浜松において、開業35周年を記念してレストランの特別メニューや結婚式の特別プラン等を販売し、収益の確保に努めました。

遊園地事業におきましては、7月に新アトラクション「キャプテンパレオの海賊船」を導入し、遊園地の魅力向上を図りました。

以上の結果、レジャーサービス事業の売上高は、50億9千8百万円(前年同期比0.9%減少)となりました。

(3) 商品販売事業(百貨店業、食品スーパー業、自動車販売業、石油製品販売業など)

百貨店業におきましては、4月に本館1階・新館1階の化粧品売り場リニューアルが完成しました。「M・A・C」「エスティローダー」「ジルシュアート」「ロクシタン」の4ブランドを新規導入し、売場の魅力向上を図りました。

食品スーパー業におきましては、昨年度新規オープンした「豊川店」、建替えオープンした「浅羽店」が売上増加に寄与しました。本年は、6月に「大人見店」、10月に「竜洋店」をリニューアルしました。

自動車販売業におきましては、ネットトヨタ浜松において、4月に有玉店を移転、オープンし「女性が気軽に来店し、快適に過ごせるお店」をコンセプトに店舗の魅力向上を図りました。「新型プリウス」を中心とした新車の販売が好調に推移し、サービス売上も好調に推移いたしました。

また、トヨタレンタリース浜松において、5月に高台店を新規オープンし、顧客の拡大を図りました。

以上の結果、商品販売事業の売上高は、603億8千5百万円(前年同期比1.2%増加)となりました。

(4) 不動産事業(不動産業、建設工事業)

不動産業におきましては、4月にSBSマイホームセンターに高気密、高断熱を特徴とした「フィアス

ホーム」を、7月にきらりタウン浜北に南仏スタイルの本格的輸入住宅「メープルホームズ」のモデルハウスをオープンさせ、新たな需要の獲得を図りました。

以上の結果、不動産事業の売上高は、50億8千万円(前年同期比15.6%減少)となりました。

(5) その他の事業(保険代理業、食品検査事業、介護事業、自動車運転教習業、人材派遣業、業務請負業、情報サービス業など)

介護事業におきましては、既存施設の業績が順調に推移するとともに、4月に介護付有料老人ホーム「ラクラス広沢レジデンス」、9月にデイサービス「ラクラス志都呂」、10月にショートステイ「ラクラス豊橋南汐田」をオープンし、事業拡大に努めました。平成29年度には、介護付有料老人ホーム「ラクラス見付レジデンス」をオープンする予定です。

自動車運転教習業におきましては、焼津市の「静岡県中部自動車学校」が遠鉄グループに加わり、4月より「遠鉄中部自動車学校」としてオープンしました。遠鉄自動車学校と浜松自動車学校を合わせて6拠点とし、事業エリア拡大を図りました。

生活支援サービス業におきましては、浜松市内2号店となる「ベンリーえんてつ浜松高林店」を8月にオープンするなど好調に推移いたしました。

以上の結果、その他の事業の売上高は、63億6千4百万円(前年同期比11.7%増加)となりました。

2. 業績推移

(1) 連結決算

(単位:百万円)

	中間			年間	
	H27 年度	H28 年度	H27 年度比	H28 年度	H27 年度比
営業収益	84,249	84,609	100.4%	181,400	104.7%
営業利益	1,507	1,213	80.5%	3,700	112.9%
経常利益	1,725	1,413	81.9%	3,900	108.0%
当期純利益	862	796	92.4%	2,100	158.0%

(注)金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

(2) セグメント別売上高

(単位:百万円)

	中間			年間	
	H27 年度	H28 年度	H27 年度比	H28 年度	H27 年度比
運輸事業	7,715	7,680	99.5%	16,000	101.0%
レジャーサービス事業	5,145	5,098	99.1%	10,700	105.9%
商品販売事業	59,673	60,385	101.2%	127,000	103.0%
不動産事業	6,016	5,080	84.4%	15,100	130.4%
その他の事業	5,699	6,364	111.7%	12,600	102.1%

(注)金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

3. 遠鉄グループ各社の主な事業内容(平成 28 年 9 月 30 日現在)

事業区分	事業内容	主要な会社
運輸事業	鉄道事業	遠州鉄道(株)
	一般乗合旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)
	一般貸切旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)
	自動車整備、関連サービス業	遠州鉄道(株)
	一般乗用旅客自動車運送事業	遠鉄タクシー(株)
レジャーサービス事業	旅行業	遠州鉄道(株)、(株)遠鉄トラベル
	ホテル・旅館業、遊園地事業	遠州鉄道(株)、遠鉄観光開発(株)、 (株)ホテルコンコルド浜松
商品販売事業	百貨店業	(株)遠鉄百貨店、(株)遠鉄百貨店友の会
	食品スーパー業	(株)遠鉄ストア
	自動車販売業	ネットヨタ浜松(株)、(株)トヨタレンタリース浜松
	石油製品販売業	遠鉄石油(株)
	サービスエリア物品販売業	遠州鉄道(株)
不動産事業	不動産業	遠州鉄道(株)
	建設工事業	遠鉄建設(株)
その他の事業	保険代理業	遠州鉄道(株)
	食品検査事業	遠鉄アシスト(株)
	介護事業	遠州鉄道(株)
	自動車運転教習業	(株)遠鉄自動車学校、(株)浜松自動車学校
	健康スポーツ業	遠州鉄道(株)
	人材派遣業、業務請負業、 ビル管理業、生活支援サービス業	遠州鉄道(株)、遠鉄アシスト(株)
	情報サービス業	遠鉄システムサービス(株)

グループ会社数 16 社(遠州鉄道含む)